

道産地鶏「北海地鶏Ⅲ」生産性と利用性の向上

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構
農業研究本部 畜産試験場
畜産研究部 中小家畜グループ

森井 泰子

新たな給与体系を確立 飼料費6.7%低減

在来鶏100%の地鶏として北海道立総合研究機構が開発し、2019年に「北海地鶏Ⅱ」からリニューアルした「北海地鶏Ⅲ」は、十勝地域を中心に生産され、地域ブランド「新得地鶏」としても販売されています。成長に時間がかかる地鶏は飼育に手間ひまコストがかかりますが、少しでも効率的に生産し、より多くの方に利用していただくために、生産性を向上する飼育技術と地鶏肉の持ち味について紹介します。

飼料費の低減

飼料費は生産コストに占める割合が高いため、飼料価格の高騰による影響は甚大です。そこで、北海地鶏Ⅲに適した飼料給与体系を検討しました。



ヒナの発育改善のため、練り餌を足元に。早期多回給与で練り餌の摂取ムラを軽減できると考えられる

図1 北海地鶏Ⅲに適した新たな飼料給与体系

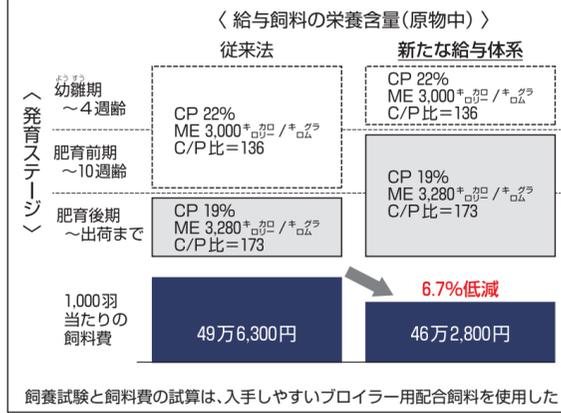
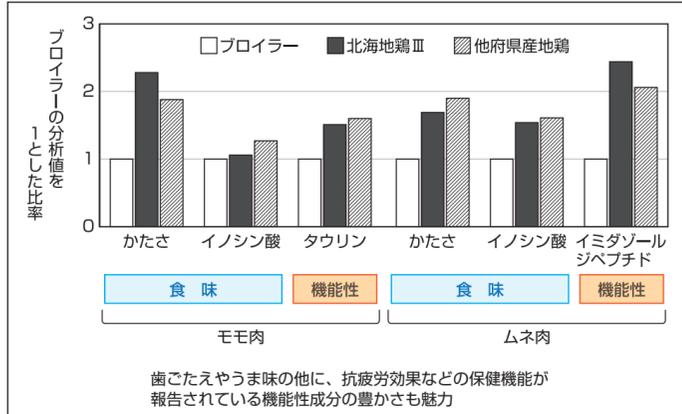


図2 北海地鶏Ⅲの理化学特性



ME含量は3200キカロ/キログラムに設定

飼付けによる発育改善

地鶏は群で平飼いされ、商品価値の低い体格が多る鶏(小鶏)の発生がしばしば問題となり対策が求められていました。小鶏の社会的順位を改善して食い負けをなくするために、体格差が

肉の特長と利用法

普及情報

技術情報とパンフレットは畜産試験場のHP(QRコード参照)で公開中

総務のすすめ

(一社)終活マイライフ 代表理事 榎木 泰子

私たちの生活の中で、意思の疎通は言葉で伝えることが大切です。口から発する言葉や手紙に書く文章で伝える方法など幾通りか考えられます。私たちが舌を発して自己の存在を示すことがとても重要なコミュニケーションの一つだと知っていても、家族や兄弟姉妹・友達など親しい間柄では、分かっている、理解し合っているの思い込みが、邪魔をして話し合いを続けることを願わずにはいられません。

言葉で思いを伝える大切さ

近年は美しい日本語の大切な言葉の響きを簡略化する傾向にあり、とても残念に感じているのは、私だけでしょうか？ ACP・人生会議の中でも、今まで生きてきた道程の中で、その方が大切にしていたこと、考えたこと、価値観、尊敬、譲れないことなどきちんと話し合いがなされて聞き取りされているのでしょうか？ それは一人の人間として、今を大切に生きる希望とともに、いつの日か迎えるであろう最期の日に、家族や親子、医療者、介護者など支え関わってこられた人たちがどのように送ることができるのか？ 悔いのないように何度も話し合いを続けることを願わずにはいられません。